

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-149270

(43)Date of publication of application : 02.06.1998

(51)Int.Cl.

G06F 3/14

G06F 3/14

G06F 13/00

(21)Application number : 09-283888

(71)Applicant : HEWLETT PACKARD CO <HP>

(22)Date of filing : 16.10.1997

(72)Inventor : VENKATRAMAN CHANDRASEKAR
MORGAN JEFFREY A

(30)Priority

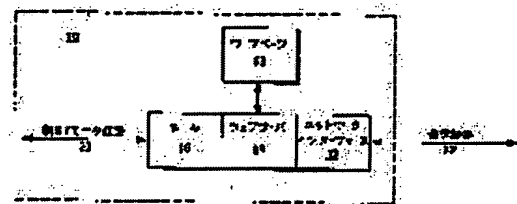
Priority number : 96 740289 Priority date : 25.10.1996 Priority country : US

(54) WEB ACCESS MECHANISM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a reinforced and extended user interface function prepared for a device, allowed to be widely accessed and reduced at its cost.

SOLUTION: An web access function is built in a device 10 including an web server 14 for applying a device web page 18. The device 10 includes a built-in network interface 12 so as to access the page 18 from an web browser. A user of the web browser accesses the user interface function for the device through the page 18. Thus the interface of a screen base kindly for users of various devices is provided without requiring the development of expensive hardware application and software application for respective different devices.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 27.04.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the
examiner's decision of rejection or application
converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of
rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision]

of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-149270

(43) 公開日 平成10年(1998) 6月2日

| (51) Int.Cl. ⁸ | 識別記号 | F I |
|---------------------------|-------|----------------------|
| G 0 6 F 3/14 | 3 3 0 | G 0 6 F 3/14 3 3 0 Z |
| | 3 4 0 | 3 4 0 Z |
| 13/00 | 3 5 7 | 13/00 3 5 7 Z |

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願平9-283888

(22) 出願日 平成9年(1997)10月16日

(31) 優先権主張番号 740-289

(32) 優先日 1996年10月25日

(33) 優先権主張国 米国 (U S)

(71) 出願人 590000400

ヒューレット・パッカード・カンパニー

アメリカ合衆国カリフォルニア州パロアル

ト ハノーバー・ストリート 3000

(72) 発明者 チャンドラセカー・ヴェンカトラマン

アメリカ合衆国 カリフォルニア, フレモ

ント, バイン・コート 43912

(72) 発明者 ジェフリー・エー・モーガン

アメリカ合衆国 カリフォルニア, クパー

ティノ, アスター・レイン 1401

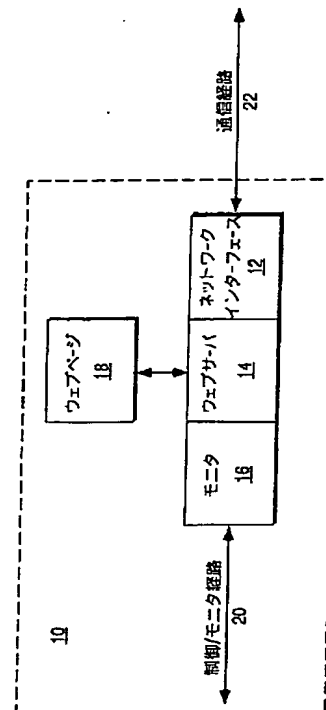
(74) 代理人 弁理士 萩野 平 (外5名)

(54) 【発明の名称】 ウェブアクセス機構

(57) 【要約】

【課題】 装置用の広くアクセス可能で低コストであり強化拡張されたユーザインターフェース機能を与える解決策与えること。

【解決手段】 装置ウェブページ18を与えるウェブサーバ14を含む装置にウェブアクセス機能が組み込まれる。装置10は、ウェブブラウザから装置ウェブページ18にアクセスできるようにする組み込みネットワークインターフェース12を含む。ウェブブラウザのユーザは、装置ウェブページ18を通じて装置用のユーザインターフェース機能にアクセスする。それぞれの異なる装置用の高価なハードウェアアプリケーションおよびソフトウェアアプリケーションを開発する必要なしにさまざまな装置の、ユーザに優しい画面ベースのインターフェースを提供する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 装置に組み込まれたウェブアクセス機構であって、前記装置用の1組のユーザインターフェース機能を備える装置ウェブページを生成するウェブサーバと、ウェブブラウザのユーザが前記装置ウェブページを通じて前記装置用の前記ユーザインターフェース機能にアクセスできるような前記ウェブブラウザによって前記装置ウェブページへのアクセスを可能にするネットワークインターフェースとを具備したことを特徴とするウェブアクセス機構。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、装置用のユーザインターフェースの分野に係り、とりわけ機能拡張され広くアクセスできるユーザインターフェース機能を与えるためにウェブアクセス機能を装置に組み込むことに関する。

【0002】

【従来の技術】事務機器、家庭用機器、研究所用機器や、さまざまな他の種類の装置を含め、広範囲のさまざまな装置は一般に、装置特有のユーザインターフェース機能を備える。そのような装置はガジェットと呼ぶこともできる。事務機器には例えば、プリンタ、ファクシミリ装置、複写機、さまざまな種類の通信装置および電話装置が含まれる。家庭用装置には、テレビジョン、ビデオプレーヤおよびビデオレコーダ、オーディオプレーヤおよびオーディオレコーダなどの家庭娯楽機器や、セキュリティシステム、自動車、電気器具、サーモスタット、ホットタブが含まれる。研究所用機器には、オシロスコープ、分光分析計、その他の種類の測定機器や、ネットワーク化機器が含まれる。

【0003】このような装置のユーザインターフェース機構は一般に、比較的簡単で低コストのユーザ入力機構およびユーザ表示機構を含む。例えば、LED/LCD素子などの発光素子や、さまざまな種類の簡単な入力ボタンまたは入力スイッチを含めることができる。通常、装置の全体的なコストを最小限に抑えるように低コストになるように構築される。また、通常、小型であり、装置の寸法を比較的小さくできるようにする。残念なことに、これらユーザインターフェース機構は、装置から与えられるユーザインターフェース機能の範囲および融通性を厳しく制限する。

【0004】装置のユーザインターフェース機能は、装置内で画面ベースのユーザインターフェース機構を実施することによって強化拡張することができる。例えば、表示画面と、特定の種類の装置に適した豊富なグラフィカルユーザインターフェースを生成する適当なソフトウェアと一緒にあったレンダリングプロセッサとを含むことができる。しかし、このような画面表示装置およびレ

ンダリング機構は通常、高価であり、装置の全体的なコストを増加させる。高いコストは、比較的大規模な市場向けの低コストの装置には適していない。さらに、表示画面および関連するハードウェアは、大きすぎて多くの装置の寸法制約を満たさないことがある。

【0005】外部のコンピュータシステムを使用する装置に画面ベースのユーザインターフェースを設けることができる。例えば、シリアルポート接続部やパラレルポート接続部などの標準接続部と特殊ハードウェアインターフェースのどちらかを通じて装置をコンピュータシステムに接続することができる。外部コンピュータシステムは通常、装置との通信およびユーザインターフェース用の1組のソフトウェアを実行する。外部コンピュータシステムは、装置用の画面ベースのユーザインターフェースを実施することができる。外部コンピュータシステムは、外部ウェブブラウザがコンピュータシステムにアクセスし、さらに装置のユーザインターフェースにアクセスすることができるようにするウェブサーバソフトウェアを実行することもできる。

【0006】残念なことに、そのような外部コンピュータシステムは、装置用の画面ベースのユーザインターフェースを設けるコストを大幅に増大させる。また、そのような従来技術のコンピュータシステムベースの解決策では通常、特定の各装置タイプごとに特殊ソフトウェアを開発する必要がある。さらに、特定の製造業者の特定の装置用のこのような特殊ソフトウェアは通常、それぞれのタイプのコンピュータシステムプラットフォーム向けに開発しなければならない。それぞれの異なるプラットフォーム用のさまざまな異なるソフトウェアのために、装置をサポートするというタスクは著しく複雑になる。さらに、さまざまなソフトウェアの開発コストおよびサポートコストは通常、装置用の画面ベースのユーザインターフェースを設ける全体的なコストを増加させる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】よって本発明は、装置用の広くアクセス可能で低コストであり強化拡張されたユーザインターフェース機能を与える解決策を与えることを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】この解決策では、装置ウェブページを与えるウェブサーバを含む装置にウェブアクセス機能が組み込まれる。この装置は、ウェブブラウザから装置ウェブページにアクセスできるようにする組み込みネットワークインターフェースを含む。ウェブブラウザのユーザは、装置ウェブページを通じて装置用のユーザインターフェース機能にアクセスする。ウェブサーバ機能は、通常、装置特有の機能を実行する、既存のプロセッサ、メモリ、入出力回路など、装置内の既存の回路を用いて実施され、それによって装置用の専用ウェ

ブサーバハードウェアに必要な余分のコストおよび空間を回避することができる。

【0009】装置に組み込まれたウェブサーバ機能によって、インターネットのワールドワイドウェブ(WWW)部分を含むさまざまな通信機構を介した装置ユーザインターフェースアクセスが可能になる。画面ベースのユーザインターフェース機構を装置に設けるコストは不要になり、外部コンピュータなしで装置ウェブサーバを構成することができる。本明細書で開示する方法および機構は、それぞれの異なる装置用の高価なハードウェアアプリケーションおよびソフトウェアアプリケーションを開発する必要なしにさまざまな装置の、ユーザに優しい画面ベースのインターフェースを提供する。本発明の方法および機構は、装置ユーザインターフェースへのアクセスが、使用されるコンピュータシステムプラットフォームと、実行されるウェブブラウザソフトウェアと、ユーザの位置から独立したものになるように、ウェブ方法を使用する。

【0010】ユーザインターフェース情報は、ハイパーテキストマークアップ言語(HTML)を使用してパッケージングされ、ハイパーテキストトランスファプロトコル(HTTP)に従って転送される。HTMLおよびHTTPプロトコルによって、ウェブブラウザを実行するプラットフォームから独立した既存のウェブブラウザと通信することができる。本発明の方法では、業界で広く使用されているアプリケーションプログラミングインターフェース(API)の必要なしに機器の制御および使用を統合することができる。

【0011】本発明の他の特徴および利点は下記の詳細な説明から明らかになる。

【0012】

【発明の実施の形態】図1は、装置特有のユーザインターフェース機能を備える組み込み(embedded)ウェブアクセス機能を含む装置10を示す。装置10は、ネットワークインターフェース12とウェブサーバ14をモニタ16と共に含む。ネットワークインターフェース12によって、通信経路22を介した通信が可能になる。モニタ16は、装置10のさまざまな装置特有の機能を制御し、装置10に関する1組の情報を制御/モニタ経路20を介して監視する。ウェブサーバ14は、通信経路22を介してウェブクライアントにウェブサーバ機能を与える。ウェブサーバ14は、ハイパーテキストトランスファプロトコル(HTTP)に従ってウェブサーバ機能を与える。

【0013】ウェブサーバ14は、装置10用の所定のユニバーサルリソースロケータ(URL)を指定するネットワークインターフェース12を通じてHTTPコマンドを受信する。HTTPコマンドは、装置状況情報などの情報を装置10から読み取るためにウェブクライアントによって使用することができる。HTTPコマンド

は、装置10の機能または動作状態を制御する情報などの情報を装置10へ転送するために使用することもできる。そのようなHTTPコマンドには、HTTP GETコマンドとHTTP POSTコマンドとHTTP PUTコマンドとが含まれる。

【0014】装置10へ送られたHTTPコマンドに回答して、ウェブサーバ14は、装置10用の1組のユーザインターフェース機能を定義するウェブページ18を生成する。ウェブページ18とは、ハイパーテキストマークアップ言語(HTML)ファイルである。ネットワークインターフェース12は、ウェブページ18を通信経路22を介して要求側HTTPクライアントへ転送する。

【0015】ウェブサーバ14は、ウェブページ18を、モニタ16によって維持される装置10に関する情報の更新済み状態を反映するように動的に生成する。ウェブページ18は、装置10用のさまざまな制御機能を通信経路22を介してウェブクライアントから開始できるようにするHTTPプロトコルに従って制御ボタンを定義することもできる。ウェブページ18は、HTTPプロトコルおよびHTMLプロトコルによってサポートされるテキストや、画像、マルチメディアファイル、フォーム、テーブル、オブジェクトタイプを含むことができる。

【0016】また、ウェブページ18は、装置10内に配置された追加ウェブページを指定する1つまたは複数のURLを含むことができる。ウェブページ18は、他の位置、すなわち装置10の外部に配置された追加ウェブページを指定する1つまたは複数のURLを含むこともできる。装置10の外部の追加ウェブページは例えば、ローカル通信網またはインターネットWWW上に配置することができる。

【0017】装置10は、プリンタ、ファクシミリ装置、複写機、通信装置、電話装置などの装置、テレビジョン、ビデオ装置、オーディオ装置などの家庭娯楽装置、冷蔵庫や洗濯機などの電化製品、セキュリティシステム、自動車、ホットタブを含め、さまざまな装置を表す。装置10は、オシロスコープ、分光分析計、その他のタイプの測定装置を含め、さまざまな計器を表す。また、装置10は、回転媒体記憶装置などの大容量記憶装置を含め、さまざまなコンピュータ周辺装置を表す。

【0018】通信経路22は、HTTPウェブプロトコルに従ってHTMLファイルを転送することができる通信手段を表す。通信経路22は、ローカルエリアネットワーク、携帯電話リンクを含む電話回線、シリアル通信リンク、パラレル通信リンク、送電線通信リンク、無線通信リンク、赤外線通信リンクを含め、さまざまな通信機構によって実現することができる。通信経路22は、WWWとの直接インターネット接続でもよい。

【0019】図2は、装置10のハードウェアブロック

図である。装置 10 は、プロセッサ 200 と、メモリ 210 と、1 組の装置特有のハードウェア 300 を、通信経路 22 を介した通信を可能にする 1 組の入出力回路 220 と共に含む。プロセッサ 200 は、装置 10 用の装置特有機能を、装置特有のハードウェア 300 と組み合わせて実行する。プロセッサ 200 は、装置 10 においてウェブサーバ機能を実行するためにも使用される。一実施形態では、プロセッサ 200 は、通常の装置特有機能に関連付けられた情報を記憶するためにも使用できるメモリ 210 にウェブページ 18 を記憶する。

【0020】一実施形態では、装置 10 はプリンタ装置であり、プロセッサ 200 およびメモリ 210 は画像レンダリング機能を実行し、装置特有のハードウェア 300 はプリンタハードウェアと関連する回路とを含み、入出力回路 220 はプリンタ装置へのネットワークアクセスを行う。ウェブサーバ機能は、プロセッサ 200 用のソフトウェアまたはファームウェアを設け、メモリ 210 内の利用可能な空間を使用し、イーサネット回路など既存の入出力回路 220 を使用して HTML ファイルを転送することによって、プリンタ装置に組み込まれる。

【0021】他の実施形態では、装置 10 はビデオプレーヤ／レコーダであり、プロセッサ 200 およびメモリ 210 は、磁気テープや光学記憶媒体などの記憶媒体からビデオ情報およびオーディオ情報を読み取り、そのような媒体にビデオ情報およびオーディオ情報を書き込む機能を実行する。装置特有のハードウェア 300 は、モータや磁気ヘッドなどの媒体作動ハードウェアと、情報を読み取り記憶媒体上に与える関連回路とを含む。ウェブサーバ機能は、プロセッサ 200 用のソフトウェアまたはファームウェアを設け、メモリ 210 内の利用可能な空間を使用し、ビデオ装置に入出力回路 220 を付加することによって、ビデオ装置に組み込まれる。

【0022】他の実施形態では、装置 10 は洗濯機であり、プロセッサ 200 およびメモリ 210 は、洗濯サイクルを制御する機能を実行する。装置特有のハードウェア 300 は、モータ、弁、センサ、関連回路などのハードウェアを含む。ウェブサーバ機能は、プロセッサ 200 用のソフトウェアまたはファームウェアを設け、メモリ 210 内の利用可能な空間を使用し、ビデオ装置に入出力回路 220 を付加することによって、ビデオ装置に組み込まれる。

【0023】装置 10 用のウェブサーバ機能には、HTTP プロトコルを実施し HTML フォーマット済みファイルを生成するプロセッサ 200 によって実行されるソフトウェアが含まれる。一実施形態でのウェブページ 18 は、メモリ 210 に記憶され、あるいはただちに生成することができる。プロセッサ 200 は、入出力回路 220 を駆動しネットワークインターフェース 12 の機能を与える通信ソフトウェアも実行する。プロセッサ 200 は、モニタ 16 の制御・情報監視機能および制御・情

報ロギング (logging) 機能を実行するソフトウェアも実行する。

【0024】他の実施形態では、装置 10 のウェブサーバ機能は、プロセッサと、HTTP プロトコルを実施するソフトウェアを保持するメモリとを含む単一の集積回路チップ上で実施される。このような実施形態では、ネットワークインターフェース 12 のハードウェア部分は、プロセッサと同じ集積回路チップ上で実施することも、そのチップの外部に存在することもできる。

10 【0025】他の実施形態では、装置 10 のウェブサーバ機能は状態マシンを用いて実施される。

【0026】他の実施形態では、装置 10 は、自動車に含まれるコントローラモジュールまたは制御コンピュータである。セルラ送信機／受信機回路などの入出力回路 220 によって、ウェブブラウザは、ウェブページ 18 に含まれる自動車に関する制御情報および状況情報にアクセスすることができる。

20 【0027】他の実施形態では、装置 10 は、ディスクドライブや CD-ROM ドライブなどの大容量記憶装置である。ローカルエリアネットワークインターフェース回路などの入出力回路 220 によって、ウェブブラウザは、ウェブページ 18 に含まれる大容量記憶装置に関する制御情報および状況情報にアクセスすることができる。

30 【0028】他の実施形態では、装置 10 は、オーディオシステムなどの家庭娯楽装置である。赤外線通信回路や送電線通信回路などの入出力回路 220 によって、家庭のコンピュータなどのウェブブラウザは、ウェブページ 18 に含まれるオーディオ装置に関する制御情報および状況情報にアクセスすることができる。

【0029】メモリ 210 は、読取り専用メモリや、フラッシュメモリや、ディスクドライブなどの静的メモリでも、あるいはランダムアクセスメモリなどの揮発性メモリでもよい。ウェブページは、静的メモリまたはランダムアクセスメモリに HTML 形式で記憶することも、あるいは装置 10 に記憶せずにただちに生成することもできる。

40 【0030】図 3 は、ウェブブラウザ 40 が装置 10 のユーザインターフェース機能にアクセスできるようにする家庭ベースのネットワーク 30 を示す。家庭ベースのネットワーク 30 は、送電線通信リンク、ツイストペア線通信リンク、無線周波数通信リンク、赤外線通信リンクを含め、家庭に適したさまざまな通信機構を用いて実施することができる。

50 【0031】ウェブブラウザ 40 は、テキスト、画像、マルチメディアオブジェクト、グラフィカルユーザインターフェースオブジェクトを含むビジュアルオブジェクトを生成するディスプレイ 42 を含む。ウェブブラウザ 40 は、ユーザが、ディスプレイ 42 上に示されたオブジェクトおよび URL リンクを選択できるようにする選

択装置 44 を含む。ウェブブラウザ 40 は、オーディオ情報をユーザに示すことができるようにするオーディオ機能を含むこともできる。

【0032】家庭ベースのネットワーク 30 は、1 組の装置 50 ～ 52 間の通信を可能にすることもできる。装置 50 ～ 52 には、電気器具、ホームセキュリティシステム、家庭娯楽装置、空気調和システム、ホットタブなどの装置を含むことができる。本明細書で開示した装置ウェブページ機構を実施する装置 50 ～ 52 は、装置特有のユーザインターフェースウェブページを家庭ベースのネットワーク 30 を介してウェブブラウザ 40 に与えることができる。

【0033】ウェブブラウザ 40 は、1 組のウェブブラウザソフトウェアを実行するコンピュータシステムで具体化することができる。ウェブブラウザ機能を有するそのようなコンピュータシステムは、Windows プラットフォーム、Macintosh プラットフォーム、Unix プラットフォームや、HTTP クライアント機能を備え HTML ファイルをレンダリングするウェブブラウザソフトウェアを実行することができるその他のプラットフォームを含め、さまざまな利用可能なコンピュータシステムプラットフォームのうちの 1 つによって実現することができる。

【0034】ウェブブラウザ 40 は、HTTP クライアント機能を備え HTML ファイルをレンダリングするさまざまな他の装置において具体化することもできる。そのような装置には、テレビジョンシステムまたは電話システム向けに設計された特殊ハードウェアと、低コストのウェブブラウザ装置やネットワークコンピュータが含まれる。

【0035】ユーザは、ウェブブラウザ 40 を使用して装置 10 のユーザインターフェース機能にアクセスしそれを制御する。ユーザは、装置 10 に対応する URL を

ウェブブラウザ 40 に入力する。これに対して、ウェブブラウザ 40 は、入力された URL を含む HTTP コマンドを家庭ベースのネットワーク 30 を介して転送する。装置 10 は、HTTP コマンドを通信経路 22 を介して受信し、それに含まれている URL を認識する。

【0036】一実施形態では、ウェブページ 18 に関する情報は、プロセッサ 200 によって定期的に更新され、メモリ 210 に HTML 形式で記憶される。そのような実施形態では、プロセッサ 200 は、HTTP コマンドに応答してメモリ 210 からウェブページ 18 を読み取り、そのウェブページ 18 を家庭ベースのネットワーク 30 を介してウェブブラウザ 40 へ転送する。

【0037】代替実施形態では、プロセッサ 200 は、ウェブブラウザ 40 からの HTTP コマンドに応答してただちにウェブページ 18 を生成する。そのような実施形態では、プロセッサ 200 は、HTTP コマンドを受信しそれに含まれている URL を認識した後に、装置特有のハードウェア 300 から装置に関する情報を得る。プロセッサ 200 は、この情報を、ウェブページ 18 を定義する HTML 形式でフォーマットし、この HTML フォーマット済み情報を家庭ベースのネットワーク 30 を介してウェブブラウザ 40 へ転送する。

【0038】HTML ファイルは、ウェブブラウザ 40 に対応する URL を指定する HTTP プロトコルに従って転送される。ウェブブラウザ 40 は、HTML ファイルを受信しウェブページ 18 をディスプレイ 42 上に表示する。

【0039】下記に、装置 10 がプリンタ装置である実施形態においてウェブページ 18 を定義する HTML ファイルの例を示す。

【0040】

【表 1】

10

20

30

```

<TITLE>プリンタホームページ(Printer Home Page)</TITLE>
<H1>装置 10 のホームページ(home page for device 10)</H1>
<HR>
下記の情報は例としてプリンタが挙げられた装置 10 に関するもの
である。(The following information pertains to the
device 10 which in this example is a printer)
<table border>
<caption>URL と プリンタ(Printer with a URL) </caption>
<TR>
<TD>プリンタ名(Printer Name)</TD>Portdv9</TD>
</TR>
<TR>
<TD>管理者(Administrator)</TD>John Doe さん(Mr.
John Doe)</TD>
</TR>
<TR>
<TD>場所(Location)</TD>1U 棟(Building 1U)</TD>
</TR>
</TABLE>
<P>
<A HREF = "http://www.hpssc.com">サービス契約(Service
Contract)</A>
<P>
<A HREF = "http://www.hpsupl.com">サプライオーダー
(Supplies ordering)</A>
<P>
<A HREF = "http://www.hpl.hp.com">さらなる成果(Future
Products)</A>
<P>
<HR>

```

【0041】図4は、装置10がプリンタである、上記に示したHTMLファイルの例に関するウェブページ18を示す。ウェブページ18は、上記で説明したHTMLコードの例に回答してウェブブラウザ40によってディスプレイ42上に表示される。ウェブページ18は、ページタイトル70と、ヘッダ部60と、1組のASCIIテキスト62と、テーブル部64と、1組のハイパーリンク66～68とを含む。

【0042】ページタイトル70は、上記に示したHTML<TITLE>プリンタホームページ(Printer Home Page)</TITLE>コードによって定義される。ヘッダ部60は、上記に示したHTMLファイルの<H1>装置10のホームページ(Home Page for device 10)</H1>によって定義される。ASCIIテキスト62は、上記に示したHTMLファイルに含まれるASCIIテキストである。テーブル部64は、上記に示したHTMLファイル内にコードを用いて定義され、プリンタ名と管理者とプリンタの位置とを含む、プリンタに関する情報を与える。

【0043】上記に示したHTMLファイルに定義されるハイパーリンク66～68は、さまざまなプリンタサポート機能に関する他のウェブページにウェブブラウザ

40を方向付ける。例えば、ハイパーリンク66「サービス契約(Service Contract)」は、プリンタ補修契約に関する情報のURL「http://www.hpssc.com」にウェブブラウザ40を方向付ける。同様に、ハイパーリンク67、68は、プリンタ消耗品を注文し、プリンタ装置の製造業者から将来のプリンタ製品に関する情報を得るためのウェブページへのリンクを与える。

【0044】プリンタに関するウェブページ18は、マニュアルや、部品リストや、その他の関連文献を含むこともできる。このような文献は、装置10、例えば非揮発性メモリ内に記憶することも、あるいはウェブページ18に含まれるハイパーリンクを介して他の場所で参照することもできる。このような文献は、更新済みマニュアルなどの動的情報と、装置10用の新しい更新済みソフトウェアドライバルーチンを含む。

【0045】図5は、装置10、50～52の装置ウェブページにアクセスできるようにする大組織網80を示す。大組織網80は、イントラネットと呼ぶことができ、さまざまなタイプの通信リンクによって接続されたローカルエリアネットワークを含めさまざまな通信機構を用いて実施することができる。

【0046】大組織網80に結合された1つまたは複数の1組のコンピュータシステム90~92は、装置10、50~52の装置ウェブページにアクセスすることができる。コンピュータシステム90~92が1つまたは複数のさまざまな利用可能なウェブブラウザソフトウェアを実行することも、あるいはコンピュータシステム90~92にウェブブラウザ機能を組み込むこともできる。

【0047】1つのコンピュータシステム90~92のユーザは、装置10、50~52のうちの所望の装置に10 対応するURLを、対応するウェブブラウザアプリケーションに入力する。これに回答して、HTTPクライアントとしての特定のウェブブラウザアプリケーションは、所望のURLを指定するHTTPコマンドを大組織網80を介して転送する。HTTPコマンドによって指定された装置は、このコマンドに含まれるURLを認識する。これに回答して、対象である装置は、その装置ウェブページを定義するHTMLファイルを大組織網80を介して転送する。HTMLファイルを転送することによって、コンピュータシステム90~92のうちの発信側HTTPクライアントコンピュータシステムのURL 20 が指定される。発信側HTTPクライアントコンピュータシステムは、そのURLを認識し、装置ウェブページを受信し、次いでユーザに示す。

【0048】図6は、ワールドワイドウェブ(WWW)100との直接インターネット接続を通じた装置ウェブページへのアクセスを示す。装置10のウェブページ18は、ウェブブラウザ40を含め、WWW100上の任意のウェブクライアントからアクセスすることができる。

【0049】また、通信システム102はWWW100とローカルエリアネットワーク120との間の通信ブリッジとして働き、通信システム104はWWW100と家庭ベースネットワーク130との間の通信ブリッジとして働く。したがって、ローカルエリアネットワーク120または家庭ベースネットワーク130に結合された他のHTTPクライアントは、装置108内の装置ウェブページにアクセスすることも、あるいは装置106内の装置ウェブページにアクセスすることも、あるいは装置10内の装置ウェブページにアクセスすることもできる。また、WWW100上のウェブブラウザ40または任意のHTTPクライアントは、装置106、108の装置ウェブページにアクセスすることができる。

【0050】本明細書で説明した組み込みウェブサーバ機能によって、特定の装置ならびに数組の装置用の広くアクセス可能なさまざまな装置間い合わせ機能および制御機能が可能になる。例えば、Laundromatsチェーンの各洗濯機にウェブページを組み込み、事務所のコンピュータのオペレータが、補修を必要とする洗濯機を判定し、それに応じてLaundromatsへの毎日の補修ルーティ

ングを計画することができる。

【0051】本発明の前述の詳細な説明は、例示のために与えたものであり、網羅的なものでも、あるいは開示した厳密な実施形態に本発明を制限するためにもものでもない。したがって、本発明の範囲は、添付の特許請求の範囲によって定義される。

【0052】以下に本発明の実施の形態を要約する。

1. 装置に組み込まれたウェブアクセス機構であって、前記装置用の1組のユーザインターフェース機能を備える装置ウェブページを生成するウェブサーバと、ウェブブラウザのユーザが前記装置ウェブページを通じて前記装置用の前記ユーザインターフェース機能にアクセスできるように前記ウェブブラウザによって前記装置ウェブページへのアクセスを可能にするネットワークインターフェースとを具備したウェブアクセス機構。

【0053】2. 前記ウェブサーバが前記ネットワークインターフェースを介してHTTPコマンドを受信し、次いで前記HTTPコマンドに回答して前記装置ウェブページを定義するHTMLファイルを生成する上記1に記載のウェブアクセス機構。

【0054】3. 前記HTTPコマンドが前記装置に対応するURLを指定する上記2に記載のウェブアクセス機構。

【0055】4. 前記HTMLファイルが前記装置に関する1組の情報を含む上記3に記載のウェブアクセス機構。

【0056】5. 前記HTMLファイルが前記装置用の1組の所定の機能を制御する1組のURLを含み、各URLが前記装置の内部に配置されたウェブページを指し示すことも、あるいは前記装置の外部に配置されたウェブページを指し示すこともできる上記3に記載のウェブアクセス機構。

【0057】6. 前記HTMLファイルが前記装置に関する追加情報を指定する外部ウェブページへのハイパーリンクを含む上記3に記載のウェブアクセス機構。

【0058】7. 装置用の1組のユーザインターフェース機能を備え前記装置に関する1組の情報を含む装置ウェブページを生成するプロセッサと、前記装置ウェブページを記憶するメモリと、ウェブブラウザが通信経路を介して前記装置ウェブページにアクセスできるように前記通信経路を介した通信を可能にする入出力回路とを備える装置。

【0059】8. 前記プロセッサが前記入出力回路を介してHTTPコマンドを受信し、次いで前記HTTPコマンドに回答して前記装置ウェブページを定義するHTMLファイルを生成する上記7に記載の装置。

【0060】9. 前記HTTPコマンドが前記装置に対応するURLを指定する上記8に記載の装置。

【0061】10. 前記HTMLファイルが前記装置用の1組の所定の機能を制御する1組のURLを含み、

各URLが前記装置の内部に配置されたウェブページを指し示すことも、あるいは前記装置の外部に配置されたウェブページを指し示すこともできる上記8に記載の装置。

【0062】11. 前記HTMLファイルが前記装置用の1組の所定の機能を制御する1組のグラフィカル機構を定義する上記8に記載の装置。

【0063】12. 前記HTMLファイルが前記装置に関する追加情報を指定する外部ウェブページへのハイパーリンクを含む上記8に記載の装置。

【0064】13. 装置用のユーザインターフェース方法であって、前記装置用の1組のユーザインターフェース機能を備える装置ウェブページを前記装置内で生成し、前記装置の外部のウェブブラウザのユーザが前記装置ウェブページを通じて前記装置用の前記ユーザインターフェース機能にアクセスするように、前記ウェブブラウザから前記装置ウェブページにアクセスするユーザインターフェース方法。

【0065】14. 装置ウェブページを生成するステップが、前記ウェブブラウザから受信されたHTTPコマンドに応答して、前記装置ウェブページを定義するHTMLファイルを生成するステップを含む上記13に記載の方法。

【0066】15. 前記HTTPコマンドが前記装置に対応するURLを指定する上記14に記載の方法。

【0067】16. 前記HTMLファイルが前記装置に関する1組の情報を含む上記14に記載の方法。

【0068】17. 前記HTMLファイルが前記装置用の1組の所定の機能を制御する1組のURLを含み、各URLが前記装置の内部に配置されたウェブページを指し示すことも、あるいは前記装置の外部に配置されたウェブページを指し示すこともできる上記14に記載の方法。

【0069】18. 前記HTMLファイルが前記装置に関する追加情報を指定する外部ウェブページへのハイパーリンクを含む上記14に記載の方法。

【0070】19. 装置に組み込まれたユーザインターフェース装置であって、前記装置用の1組のユーザインターフェース機能を備える装置ウェブページを装置内で生成する手段と、前記装置の外部のウェブブラウザのユーザが前記装置ウェブページを通じて前記装置用の前記ユーザインターフェース機能にアクセスするように、前記ウェブブラウザから前記装置ウェブページにアクセスできるようにする手段とを備えるユーザインターフェース装置。

【0071】20. 前記装置ウェブページを生成する手段が前記ウェブブラウザによって生成されたHTTPコマンドに応答して前記装置ウェブページを定義するHTMLファイルを生成する手段を含む上記19に記載の装置。

【0072】21. 前記HTTPコマンドが前記装置に対応するURLを指定する上記20に記載の装置。

【0073】22. 前記HTMLファイルが前記装置に関する1組の情報を含む上記20に記載の装置。

【0074】23. 前記HTMLファイルが前記装置用の1組の所定の機能を制御する1組のURLを含み、各URLが前記装置の内部に配置されたウェブページを指し示すことも、あるいは前記装置の外部に配置されたウェブページを指し示すこともできる上記20に記載の装置。

【0075】24. 前記HTMLファイルが前記装置に関する追加情報を指定する外部ウェブページへのハイパーリンクを含む上記20に記載の装置。

【0076】25. 前記装置用の1組のユーザインターフェース機能を備え前記装置に関する1組の情報を含む装置ウェブページを生成する組み込みウェブサーバを有し、通信網を介して前記装置ウェブページにアクセスできるようにするネットワークインターフェースも有する装置と、前記ウェブブラウザのユーザが前記装置ウェブページを通じて前記装置用の前記ユーザインターフェース機能にアクセスする前記通信網に結合されたウェブブラウザとを備えるシステム。

【0077】26. 前記装置内の前記ウェブサーバが前記通信網および前記ネットワークインターフェースを介してHTTPコマンドを受信し、次いで前記HTTPコマンドに応答して前記装置ウェブページを定義するHTMLファイルを生成する上記25に記載のシステム。

【0078】27. 前記HTTPコマンドが前記装置に対応するURLを指定する上記27に記載のシステム。

【0079】28. 前記HTMLファイルが前記装置用の1組の所定の機能を制御する1組のURLを含み、前記装置の前記所定の機能を制御するために前記ウェブブラウザの前記ユーザがURLを選択し、各URLが前記装置の内部に配置されたウェブページを指し示すことも、あるいは前記装置の外部に配置されたウェブページを指し示すこともできる上記26に記載のシステム。

【0080】29. 前記HTMLファイルが前記装置に関する追加情報を指定する前記通信網上の他の任意の場所に配置された外部ウェブページへのハイパーリンクを含む上記26に記載のシステム。

【0081】30. 前記通信網が家庭ベースの通信網を備える上記25に記載のシステム。

【0082】31. 前記通信網が大組織通信網を備える上記25に記載のシステム。

【0083】32. 前記通信網がインターネットのワールドワイドウェブを備える上記25に記載のシステム。

【0084】

【発明の効果】本発明では、装置ウェブページを与える

ウェブサーバを含む装置にウェブアクセス機能が組み込まれる。ウェブサーバ機能は、通常、装置特有の機能を実行する、既存のプロセッサ、メモリ、入出力回路など、装置内の既存の回路を用いて実施され、それによって装置用の専用ウェブサーバハードウェアに必要な余分のコストおよび空間を回避することができる。また、装置に組み込まれたウェブサーバ機能によって、インターネットのワールドワイドウェブ (WWW) 部分を含むさまざまな通信機構を介した装置ユーザインターフェースアクセスが可能になる。よって、画面ベースのユーザインターフェース機構を装置に設けるコストは不要になり、外部コンピュータなしで装置ウェブサーバを構成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】装置ウェブページを通じて装置特有のユーザインターフェース機能を与える組み込みウェブアクセス機能を含む装置を示す図である。

【図 2】装置ウェブページを通じて装置特有のユーザインターフェース機能を与える組み込みウェブアクセス機能を含む装置を示す図である。

【図 3】ウェブブラウザが装置ウェブページを通じてユーザインターネット機能にアクセスできるようにする家庭用ネットワークを示す図である。

【図 4】プリンタ装置用の装置ウェブページの例を示す図である。

【図 5】それぞれの異なる装置の装置ウェブページにアクセスできるようにする大型組織網またはイントラネットを示す図である。

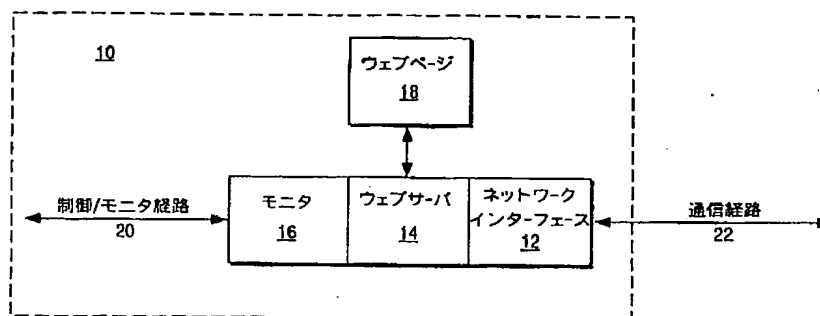
【図 6】インターネットワールドワイドウェブを通じた

装置ウェブページへのアクセスを示す図である。

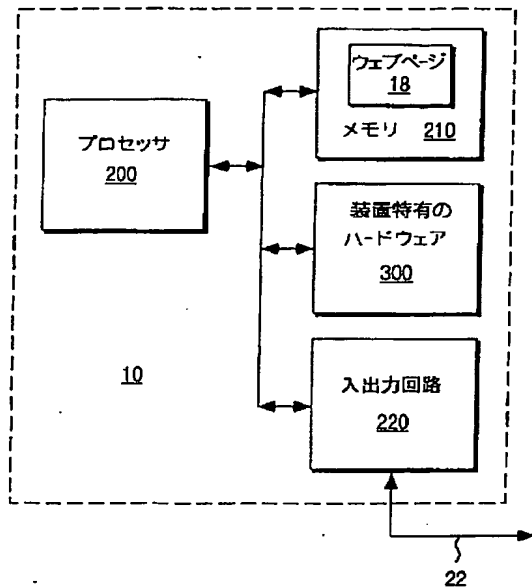
【符号の説明】

- 10 装置
- 12 ネットワークインターフェース
- 14 ウェブサーバ
- 16 モニタ
- 18 ウェブページ
- 20 制御/モニタ経路
- 22 通信経路
- 30、130 家庭ベースのネットワーク
- 40 ウェブブラウザ
- 42 ディスプレイ
- 44 選択装置
- 50～52、106、108 装置
- 60 ヘッダ部
- 62 ASCIIテキスト
- 64 テーブル部
- 66～68 ハイパーリンク
- 70 ページタイトル
- 80 大組織網
- 90～92 コンピュータシステム
- 100 ワールドワイドウェブ (WWW)
- 102、104 通信システム
- 120 ローカルエリアネットワーク
- 200 プロセッサ
- 210 メモリ
- 220 入出力回路
- 300 装置特有のハードウェア

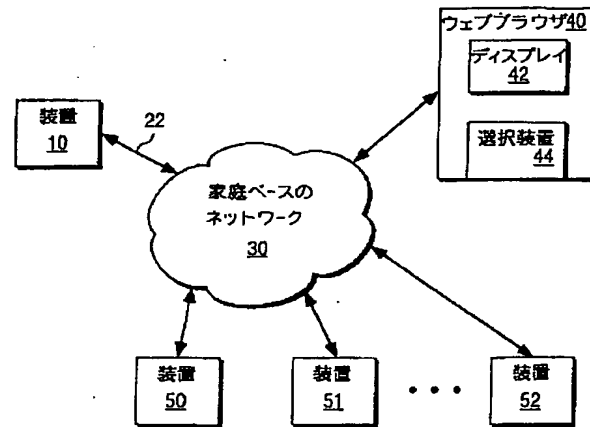
【図 1】



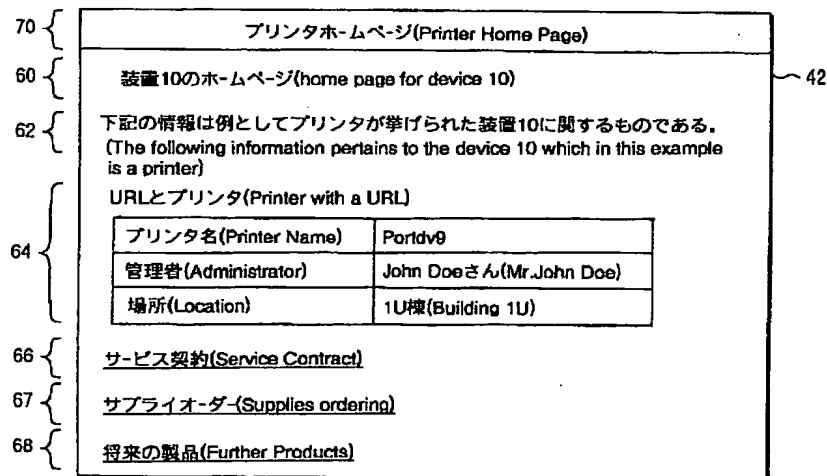
【図2】



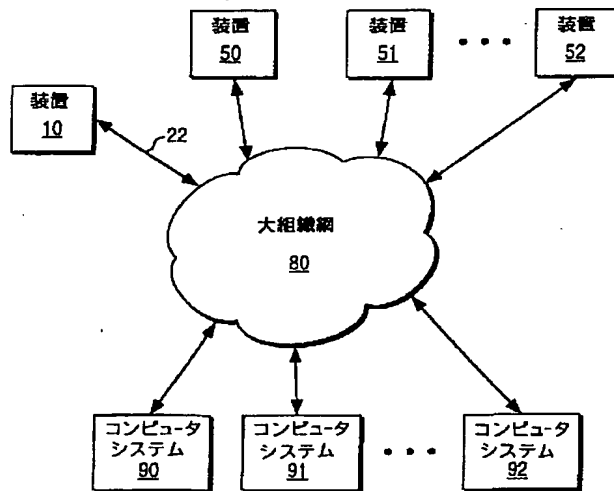
【図3】



【図4】



【図 5】



【図 6】

